2016. 2.24

食品衛生レビュー№82　●２月はねずみ駆除月間

　1970年代前半頃までの２月は「全国ねずみ駆除月間」でした。２月はエサが少なく、寒いので生息場所限られているからだと思います。そこで、「ねずみの素顔」を理解して対策を考えていただきたいと思います。

当時は、保健所に勤務していたのでクマリン系薬剤の配布、パチンコ式トラップの貸し出し、自治会へねずみ駆除の指導に行きました。

ねずみの素顔

|  |
| --- |
| 私達人間が最も嫌っている獣はねずみ。以前は家庭、道路等で良く見かけましたが、最近は、特に高層ビルの中で猛威を奮い食品だけでなく、情報ケーブルなどをカジリ大変な被害が出ています。そして、スーパーラットと呼ばれる寒さに強い、薬剤に強いねずみが出現して、人間と知恵比べをしているようです。  **名前の由来**  「盗み」（ぬすみ）が訛って「ねずみ」になった。  「寝盗」（ねぬずみ、人間が寝ている間に盗む）から　「ぬ」　が抜けて「ねずみ」になった。  「不寝見」（ねずみる、寝ないで機を伺う）から　「る」　が抜けて「ねずみ」になった。  　＊　夜行性で、夜モノ（食品）を盗むからとも考えられます。  **家ねずみの分類**  脊椎動物門  　哺乳網  　　　齧歯（げっし）目（獣類の中で一番種類が多くリス、ヤマアラシ、ビーバーなどが含まれます）  　　　　ネズミ亜目（ヤマネが含まれます）  　　　　　ネズミ科  　　　　　　ネズミ亜科  　クマネズミ属 クマネズミ、ドブネズミ  　ハツカネズミ属 ハツカネズミ  **ねずみの生態**  　優れた環境適応力　　家ねずみは人間のすぐそばで、野外でも屋内でも生活できます。  　雑食で大食　　　　　１日に体重の１／４から１／３を食べます。  　警戒心が高く行動が素早い　　夜間に行動  　旺盛な繁殖力　　　　ねずみ算という喩（たと）えがあり、理論的には、一対のネズミが一年で千匹以上になります。  **身近な家ねずみ達**  ドブネズミ*Rattus norvegicus*  　　大型種、成獣：体長２５cm、体重250～300ｇ、尾は身体と同じか短い、どう猛、  　　平面的行動、泳ぎが達者、動物性タンパク質を好む、特に寒さ暑さに適応する。  クマネズミ*Rattus rattus*（家ねずみ）  成獣：体長２０cm、体重100～200ｇ、尾は身体より長い、特に警戒心が高い、天井裏に巣を作る。立体的行動、垂直登はん・綱渡り・電線渡りができる。高層ビルで猛威を奮っている。  ハツカネズミ*Mus musculus*  　　　　　小型種、成獣：体長１０cm以下、体重15ｇ程度、餌場を毎日変える。ピョンピョン飛び上がるような歩き方。乾燥に強く、水分が無い所でも生活できる。小さいので、わずかな隙間から侵入。野生種はこげ茶で白くはない。  ＊　千葉県のＤランドでＭマウスが頑張っていますが、マウスは小さいネズミの名前ですので、Ｍラットになると思います。でも、映画に出てくるのは小さいから、いいのかな。 |

対　策

　進入路を絶つ

①進入しそうな穴を探し塞ぐ。

②排水口の目皿はネズミでは外せないものにする。

　進入したら　　駆除業者に依頼するのが一番ですが

①クマリン（ワルファリン）系薬剤を置く（水に濡れないように注意）。

②パチンコ式トラップ（バネが強力なので指の骨を折らないように注意が必要）の設置。

③ハツカネズミの場合にはゴキブリ駆除用に粘着板（上部の館を付けない）が有効。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（笈川　和男）

2013年12月に我が家へ侵入したハツカネズミ

ゴキブリ駆除用に粘着板（上部の館を付けず）で捕獲

